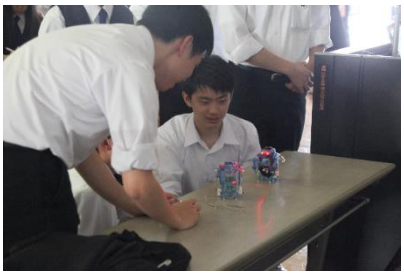
第13号　発行日　令和2年3月24日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南 SSH 通信　CELESTE

◇SSH2期生　卒業！

3月1日（日）本校第2体育館で卒業証書授与式が行われ、SSH2期目の3年次生37名が卒業しました。最後までさまざまな行事に積極的に参加して、自分の進路を決定しました。



SSH クラス進路先一覧

【国公立大学】

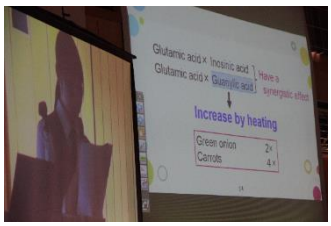
・弘前大学理工学部数物科学科（2）
・弘前大学理工学部機械科学科（2）
・弘前大学理工学部地球環境防災学科
・弘前大学理工学部電子情報工学科（2）
・弘前大学理工学部物質創成化学科（2）
・弘前大学農学生命科学部食料資源学科（2）
・弘前大学農学生命科学部国際園芸農学科
・弘前大学医学部保健学科作業療法専攻
・群馬大学理工学部機械知能システム理工学科
・新潟大学工学部工学科協創経営プログラム
・新潟大学工学部工学科人間支援感性科学プログラム
・青森県立保健大学健康科学部看護学科
・秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科

【私立大学・短期大学】

・青森大学薬学部薬学科
・青森中央学院大学看護学部看護学科
・弘前学院大学看護学部看護学科
・弘前医療福祉大学保健学部看護学科（2）
・東北女子大学家政学部児童学科
・北海道文教大学人間科学部理学療法学科
・盛岡大学文学部児童教育学科
・東北文化学園大学科学技術学部臨床工学科
・東北学院大学工学部環境建設工学科
・駒澤大学法学部法律学科フレックス A
・仙台青葉短期大学リハビリテーション学科

【その他】

・東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校電子情報技術科
・国立病院機構弘前病院附属看護学校
・日本自然環境専門学校環境園芸緑地科
・青森市消防本部



私は課題研究で、弘前とタイで重力加速度を 100分の1まで測定し値を比較する研究を行いました。仲間と協力し意欲的に研究に取り組んだ結果、全国大会で発表する機会を得て、様々な人と意見を交わす事ができました。またたくさんの研究発表を聞く中で機械工学に興味を持ち、地域が抱える問題を解決する支援ロボットを作るエンジニアになりたいという夢を見つけました。大学進学後は、生活支援ロボットの研究に携わりたいと考えています。(K.T)

私は、SSH に興味を持ち本校進学を決めました。課題研究では「車椅子の電動化」に関する研究を行い、物理や化学、数学などの理学を基に研究する楽しさを知りました。また自分でプログラミングした機械が予想通りに動いた時の達成感やものづくりの楽しさを味わうことができました。幼い頃から好きな自動車が自動化する技術が夢ではなくなった現代に、実用化に向けた研究開発に携わりたいと思い、大学進学を決めました。(K.Y)

私は以前から科学に興味があり、自然科学部長として、自ら課題設定し意欲的に探究活動をしてきました。サイエンスツアーで CYBERDYNE 社を訪れ、筋電義肢の問題点を体験することができました。「電動車椅子の製作」をテーマに課題研究に取り組みました。物理の知識や本を読んだプログラミングの知識を活用し、低価格での車椅子製作に挑戦しました。この経験から障害を持つ人を支援する機械開発に励みたいと考えるようになりました。(K.K)

将来競技者のパフォーマンス向上に役立つ用具の研究・開発を行う技術者になりたいと思っています。課題研究で、地震波形の観測を行い、工夫を重ね仲間と協力して研究に取り組みました。研究を通して、仮説考察の難しさ、正しいデータの数値や確かな事実がいかに大切かを学びました。研究開発するためには、実験で得られたデータを正確に記録することが欠かせません。課題研究で学んだデータ処理の知識を活用し研究に励みたいです。(K.K)

私は課題研究で、伝統工芸の藍染に使われる藍の抗菌成分について研究しました。藍は抗菌や消臭効果があり、見た目も鮮やかですが、県内でも認知度が低いです。そこで地元に由来する地域産業をさまざまな分野で活用することで、認知度を高め、地域産業の活性化に貢献したいと考えるようになりました。危険な作業や精密さを求められる実験が多く、大変でしたが、自ら課題を見つけ、協働して解決する力を身につけることができました。(O.A)

私は課題研究で「赤諸の形質導入」について研究し、天候や湿度などに左右され作物相手にする研究の大変さを経験しました。そこから農家が抱える問題について調べたことがきっかけで、自分の夢を確信できました。私の夢は農福連携について学び、青森県の農業における担い手不足を福祉の力を借りて改善することです。将来農業従事者への経営や農作業の指導助言をするだけでなく、農家と障害者をつなぐ働きをしたいと思っています。(M.H)